

会 議 録

平成 28 年 7 月 19 日調製

審議会等名	平成 28 年度 第 1 回 生涯学習推進会議		
公開の別	全 部 公 開		
開催日時	平成 28 年 7 月 14 日 (木) 午後 7 時～8 時半		
開催場所	三条市中央公民館 講義室	傍聴者	なし
		報道機関	なし
出席者氏名	委員 (8人)	小林 利治委員 (会長) 小林 邦雄委員 五十嵐俊雄委員	高橋 美智子委員 (副会長) 本田 寿之委員 野崎 輝子委員
	(欠席)	池守 章 委員	関川 早苗委員
	職員 (4人)	金子生涯学習課長 阿部生涯学習推進係長 竹内職員	阿部生涯学習課長補佐
協議事項			
議 会	(1) 平成 28 年度 きっかの 1 歩事業の方向性について		資料No. 1
	(2) 平成 27 年度 第 2 次三条市生涯学習推進計画 実施報告について		資料No. 2
	(3) 平成 28 年度 第 2 次三条市生涯学習推進計画 実施計画について		資料No. 3
	(4) その他		
会議内容	別紙のとおり		

19:00 小林会長	<p>本日はお忙しい中、お集まりいただき誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、これより平成 28 年度第 1 回生涯学習推進会議を開催します。</p> <p>それでは、金子生涯学習課長からあいさつをお願いします。</p>
金子課長	<課長あいさつ>
小林会長	<p>次に、新しい委員もいらっしゃいますし、事務局も人事異動等がございましたので、順番に自己紹介をお願いします。</p> <p><委員座席順に自己紹介></p> <p><職員自己紹介></p>
小林会長	それでは、議事に入る前に配布資料の確認を事務局お願いします。
阿部係長	<p>(資料確認)</p> <p>・配布資料確認</p> <p>① 次第</p> <p>② 委員名簿</p> <p>③ 座席表</p> <p>④ 平成 28 年度きっかけの 1 歩事業の方向性について 資料No. 1</p> <p>⑤ 平成 27 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施報告について 資料No. 2</p> <p>⑥ 実施報告シート C/D 評価対策シート 資料No. 2 - (1)</p> <p>⑦ 平成 28 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施計画について 資料No. 3</p>
小林会長	<p>それでは、協議事項に移ります。</p> <p>(1) 平成 28 年度きっかけの 1 歩事業の方向性についてを議題といたします。</p> <p>平成 27 年度から生涯学習課が新規重点施策として取り組みを始めて、今年で 2 年目を迎えています。</p> <p>「生涯学習のすそ野を広げる狙いと高齢者の新たな外出機会の創出」という 2 つの視点を持って取組をされた「きっかけの 1 歩」事業の平成 28 年度の方向性について事務局から説明をお願いします。</p>
阿部係長	資料No. 1 説明
小林会長	<p>今ほど、事務局から説明がありました。</p> <p>委員の皆様の意見を頂きたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(委員意見なし)</p>

小林会長	<p>それでは、次に移ります。</p> <p>議題（２）平成 27 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施報告について 議題（３）平成 28 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施計画について</p> <p>事務局、続けて説明をお願いします。</p>
金子課長	第 2 次三条市生涯学習推進計画について説明
阿部係長	議題（２）平成 27 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施報告について 説明
阿部補佐	議題（３）平成 28 年度第 2 次三条市生涯学習推進計画実施計画について 説明
小林会長	多義にわたりますが委員の皆様、どうぞ忌憚のない意見・質問をお願いします。 す。
小林(邦)委員	<p>事業計画については、とても良い方向に行っていると思います。</p> <p>平成 27 年度実施報告シートの「今後の方向性」については、少し分かりにくいように思います。ここ言う、「今後の方向性」は、平成 27 年度のことについて触れていることであると思いますが、どうしても「今後の方向性」と言われた場合、次年度、つまり平成 28 年度のことと捉えてしまうので「今後の方向性」という名称について検討をお願いします。</p>
小林会長	事務局、説明をお願いします。
阿部係長	<p>小林(邦)委員が指摘された「今後の方向性」については、資料No.2 の 2 ページを見て頂くと分かりやすいと思いますが、初心者パソコン教室は、平成 27 年度「継続」となっていますが、これは前年度、つまり平成 26 年度から見てどうなのかということ「継続」や「新規」という表記で表しています。</p> <p>もう少し、分かりやすい名称については、今後、検討したいと思います。</p>
皆川委員	評価について伺いますが、A評価とB評価の差がどうなっているのかが疑問です。目標値に十分達しているにもかかわらず、B評価としているところが多くつかありますがA評価でも良いと思いますがいかがでしょうか。
野崎委員	人数で評価しているだけではないということだと私は思いました。目標値 70 人に対して、実績として 133 人も参加した事業の記載があるがB評価とされている。よって、人数ではなくて事業内容全体で評価されているのだろうと感じました。

小林会長	<p>様々な事業を効果的に推進するためには、人数もそうですが、内容が大事だと思います。そういう中で御理解頂けたでしょうか。</p>
野崎委員	<p>平成 27 年度事業実績で、実績値の多くが 90%を超えているようですが、どんな努力をされて、このような数字につながったのかお聞かせいただければと思います。本当に凄く良い結果ばかりで、正直、驚いています。</p>
金子課長	<p>今、野崎委員が発言されたとおり、事業実績の数値は、概ね 80%から 90%になっている訳であります。やはり、その時々々の市民ニーズ・需要をアンケート調査等によって把握し、それを参考にして様々な事業を実施することになっています。</p> <p>また、職員が近年、公民館だよりに創意工夫を凝らして、手に取って読みたい、読んでいただける紙面づくりなども地道な作業ですが参加者が増えてきている 1 つの要因であると思っています。</p>
野崎委員	<p>もう 1 つ伺いたいのですが、平成 27 年度の実績報告の 3 番目の元気づくり事業の総数が 75 となっておりますが、平成 28 年度の事業計画では、これが 96 事業を実施するということになっております。この事業数が 21 も増えた主な要因については何かありますか。</p>
金子課長	<p>これについては、先程、説明をさせていただいた「きっかけの 1 歩事業」の取組数の増加が要因となっております。</p> <p>平成 27 年度は、各公民館 3 事業ずつ、全部で 9 公民館ございますので 27 事業を計画したものを、平成 28 年度については、これを各公民館 6 事業ずつとしました。つまり、実施事業を倍にして、全公民館で 54 事業以上の「きっかけの 1 歩事業」を展開することによって、これだけ事業数が増加したものでございます。</p>
皆川委員	<p>ものすごいボリュームだと思います。毎回、毎回、同じ参加者だけが来ることにならないような工夫が必要だと思います。</p>
金子課長	<p>このきっかけの 1 歩事業には、「すそ野づくり、すそ野を広げる」という視点もあります。公民館講座等への参加やサークル活動等で、常に公民館を利用されているいわゆるリピーターと言われる方以外の方をいかにして公民館にお越しいただけるか足を運んでいただけるかにこだわっています。</p>
皆川委員	<p>もう 1 つだけ伺いたいのですが、もう少しドロドロした努力の部分をお聞かせいただきたいと思います。私は、旧南小学校区でコミュニティを立ち上げて 6 年が経ちましたが本当に苦勞しています。ぜひ、公民館職員の皆さんのドロドロした努力の部分をお聞かせいただける範囲で伺いたいと思います。あまり</p>

金子課長	<p>キレイなことではなくて結構ですので、裏方はこんなに大変なんだ、或いは、こんな努力をしているんだという話を伺いたいです。</p> <p>我々、公民館職員の裏方の苦労ということではありますが、やはり参加された方からのアンケート調査などを行い、市民ニーズ・声を把握していくことが挙げられると思います。これらの把握した市民ニーズ等を元に、公民館事業等の精度を上げて一層参加していただける人気事業を提供していくことによって、参加者の増加につなげる作業を繰り返しています。</p> <p>また、もう1つ申し上げるとすれば、先ほども触れた「すそ野づくり、すそ野を広げる」という取組を積極的に展開しています。今までやっていた講座などを継続しながら、これまで公民館では取り組んでこなかったような事業を提供して、公民館に来たことがないような市民から公民館に足を運んでもらえるような取組も展開しています。とにかく、アンテナを張って他の公民館が取り組んでいる事業を参考にしたり、また、来館者、参加者等へ積極的に声掛けを行うことにも力を入れているところであります。</p>
皆川委員	<p>私は、結局のところ「人」だと思います。私もお世話になっているものづくり学校に育成センターが入ってかなり変わったと感じています。つまり、人が変われば組織が変わるということだと思います。</p> <p>本当に皆さんの努力は素晴らしいですし、人が変われば変わるんだなと驚いています。</p>
金子課長	<p>ありがとうございます。</p>
小林会長	<p>他にいかがでしょうか。</p>
野崎委員	<p>平成 27 年度の資料No.2 - (1) のきっかけの1歩事業「新通川クリーン作戦」については、雨天や当日キャンセルのため、定員 30 人のところ参加者 20 人と記載があります。もし、晴天で定員に達していたら、この事業は廃止にならなかったのでしょうか。</p>
阿部係長	<p>きっかけの1歩事業については、毎年度、事業の見直しを行い、できる範囲でこれまで公民館では取り組んだことがない新しい事業を実施するという方向で、早い段階で事業の検討を行っています。</p> <p>この中で、嵐南公民館が実施した「新通川クリーン作戦」は平成 27 年度で終了し、平成 28 年度は新しい事業を実施しようとなったものでございますので御理解をお願いします。</p>
野崎委員	<p>分かりました。ありがとうございました。</p>

小林会長	前田委員、何かありますか。
前田委員	1つ質問をさせていただきたいのですが、小学校への出前事業等は可能なのでしょうか。
金子課長	生涯学習課の文化財係では、文化財出前講座をやっています。公民館事業では、レクリーダー養成講座を修了した方が、小学校やPTAの依頼を受けて小学訪問し、PTA事業等のお手伝いとしてレクレーションを紹介することなどを実施しています。
前田委員	<p>ありがとうございました。どうして、このお話しをしたかという資料の6ページの1のところ「参加する人から支える人、担う人へ」という言葉がとても心に残りました。子どもたちには、生涯学び続けるという気持ちを持ち続けてもらえるよう接していきたいと思っています。</p> <p>本成寺公民館の新規事業で「子ども書初め教室」という、とても魅力的な事業があります。子どもの家庭環境によっては、なかなかそこに足を運ぶことが難しい子どももいます。例えば、「子ども書初め教室」を学校で実施してもらうことができれば、子どもにとって色々な学びになると思いますし、家族とは違う大人に接すること、関わることで様々なことを学ぶ機会になると思います。</p> <p>もし、そのようなことが実現できれば、本当に魅力的な事業になると思いました。</p> <p>また、このC/D対策シートは大変素晴らしいと感じ、とても勉強になりました。青少年事業の中には、子どもが定員に達しなかったのも、内容はとても素敵なのに廃止しなければならないということはとても残念なことだと思います。ぜひ、学校を会場に使っていただき、子どもたちがそこに参加するような事業があれば、とっても素晴らしい形になると感じますし、まさに「参加するから人から支える人・担う人へ」という理念に合致するのではないかと期待をしています。</p>
小林会長	本田委員いかがでしょうか。
本田委員	第2次三条生涯学習推進計画にも記載がありますが、少子高齢化が進行し、中学校等の各種大会では同学年でチーム編成ができないような状況になっていると聞きます。それと同じように公民館事業の中でも、なかなか参加者が定員に達しないというような話も伺います。どのような事業でも初心者の方や若い人が気軽に参加しやすい環境にはなっていないように感じます。また、公民館事業やコミュニティ事業、学校行事等においても「似ている部分」があったりするのかなと感じます。そういった部分、生涯学習という1つの言葉の中でお互い協力し合えればいいのかと今日のお話しを聞いて改めて感じました。

小林会長	ありがとうございました。
皆川委員	資料No.2－(1)の中にスマホ講座を廃止すると記載があります。これは、平成28年度に下田公民館だけスマホ講座を廃止するという意味ですか。
阿部係長	スマホ講座につきましては、平成26年度までは民間企業の協力で無償で希望した全自治体で開催することができましたが、平成27年度から民間企業の意向で開催地を限定して実施する方向に変わりました。よって、平成28年度は三条市の枠が無くなったというふうに捉えていただければと思います。
皆川委員	良く分かりました。
高橋副会長	音楽公演の方向性が廃止となっていますが、この経過を教えてください。
金子課長	音楽公演の参加者は近年、減少傾向にあります。音楽公演の開催費用を入場料で賄って開催するというのがなかなか難しい状況にあります。 一方で、各種団体が中央公民館等で独自に音楽公演・コンサートを開催される回数は、年々僅かですが増加傾向にあり、三条市が主催してこのような公演を開催しなくても良い状況にあるのではという判断で、廃止という形を取らせて頂きました。
高橋副会長	分かりました。
小林会長	私は文化団体協会ですが、公民館事業の効果は本当に大きいものがあると感じています。三条市が取り組みを始めた「きっかけの1歩事業」も大変大きな役割を今後担っていくのではないかと期待しています。 それでは、議題の(1)(2)(3)について承認するという事によろしいでしょうか。 (「異議なし」の声あり。) (4)その他について事務局はどうですか。 事務局 特になし。
小林会長	長時間にわたり、大変ありがとうございました。 それでは、これで第1回三条市生涯学習推進会議を閉会したいと思います。 活発な御審議大変ありがとうございました。